

教員研修専門部会

【プロジェクト名】 理科指導力向上研修プログラム

1 プロジェクトの目的・概要

本事業は、佐賀県教育センターと佐賀大学教育学部理科教員が協力して、小学校から高等学校の先生が、理科学習における観察・実験を安全に行うための基礎的・基本的な事項について理解を深め、その知識や技能を習得することを目的として開始した。

令和元(2019)年度までは、理科指導に対する教員の苦手意識の一因としての“実験経験の不足あるいは安全性への不安感”を軽減するため、毎年、「安全な理科実験・観察の指導研修」(受講対象は小学校から高等学校の初任者・採用2年目教諭)として開催してきた。その後、令和2(2020)年度からは、より多くの薬品(劇物・危険物等)や実験器具(精密器具等)に接する中学校や高等学校における不慮の事故の未然防止及び予防、及び、生徒に「理科の学習が自分の身近な生活の中で生かされている」ことを体感させるための教材開発や指導法研究に焦点化し、中学校・高等学校の初任者・採用1年目教諭を対象とした「中・高新任理科教諭研修(悉皆型)」として実施している。研修は、教育センター所員と大学教員が連携して企画・実施している。

令和2年度からは、「中・高理科観察, 実験生物講座及び地学講座(希望型)」(佐賀の子供達に伝えたい生物・地学領域での観察・実験)の実施にも大学教員が関わることとしていた。

また、2015年度からは佐賀県教育庁学校教育課の「外部人材を活用した小学校における科学教室」にも複数の理科教員が協力しており、佐賀県内の小学校に講師として出向いて、小学生に授業をしつつ現職教員の指導力向上に寄与している。

2 2021年度の実施について

令和3年度は、「中・高新任理科教諭研修(悉皆型)」および「中・高理科観察, 実験生物講座及び地学講座(希望型)」ともに、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言を受け何度か延期も試みたが、結局実施できなかった。

「外部人材を活用した小学校における科学教室」については、新型コロナウイルス感染症により、10月以降に予定されていた学校については実施された。

3 2022年度の実施について

令和4年度は、5月17日(火)に「中・高新任理科教諭研修(悉皆型)」をおこなう予定となっている。先日4月18日に、佐賀大学にて事前協議をおこなった。午前中に物理と生物分野、午後に地学および化学分野の「観察・実験の安全指導及び技能を高める指導のポイント」についての研修を教育センター職員と大学教員が共同でおこなう。内容についてはそれぞれの科目担当を中心に計画中である。その後の「薬品の適切な使用と管理についての研修」、「理科学習における安全指導のポイント」については教育センター所員が行う。

また、「外部人材を活用した小学校における科学教室」は今年度も実施予定である。